

中・高 学年	区分	教科	科目名	単位・時数/週	分野	対象
高校2年	必修	地歴	日本史B	4		全生徒
科目の目標	1. 推古朝から江戸末期までの通史を正確に理解する。 2. 史料からその時代の姿を読み取る。 3. 歴史用語を正確に理解させる。					
学習教材	教科書：『日本史B』 実教出版 副教材：『史料日本史』 とうほう出版 問題集：『一問一答 日本史B』 山川出版					
	学習項目	指導時数	学習目標	備考（指導方法など）		
一 学 期 前 期	第3章 東アジア文化の影響と 律令制度の成立 1. 推古朝の政治と飛鳥文化 2. 律令国家成立期の政治と文化 3/律令体制とその実態 5/平安初期の政治と文化 第4章 摂関政治と荘園公領制 の展開 1. 摂関政治と地方の動向	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>推古朝以降、中央集権国家体制をめざそうとする時代の動向を理解させる。</li> <li>中国などの諸制度の影響を受けて成立した律令体制の特色について注目させる。</li> <li>律令体制の中で形成された貴族社会の特質を理解させる。</li> <li>貴族社会が東アジア諸国との関係で選択した政策にも注目させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>官僚制の到来がどのような過程で成立するのかをみつめる。</li> <li>律令国家の形成における留学生の役割に注目させる。</li> <li>藤原氏の勢力拡大過程と国家の変質について理解させる。</li> <li>中央政治と地方政治の差異に注目しながら律令体制の変質をまとめる。</li> </ul>		
一 学 期 後 期	3. 荘園公領制の形成と武士団 第5章 武家社会の成立と文化 の新機運 1. 院政と平氏政権 2. 鎌倉幕府の成立 3. 武家政治の展開 4. 鎌倉武士と農民生活 5. 蒙古襲来と幕府の衰退	22	<ul style="list-style-type: none"> <li>荘園の発達が律令体制を除々に変質させていったことを理解させる。</li> <li>荘園と公領の変質やその過程での武士の台頭などに注目させる。</li> <li>院政の特色を摂関政治との比較を通して理解させる。</li> <li>武家政権の成立過程と承久の乱前後の政権の体質変化に注目させる。</li> <li>元寇を通して鎌倉幕府がどのように崩壊していくかを理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>寄進地系荘園や公領の私領化の形成に着目させる。</li> <li>武士の発生から武士政権が確立するまでの過程を明確にする。</li> <li>院政期の社会の特質に注目させる。</li> <li>平氏政権と源氏の政権の相違点を明らかにし、武士の政権の特色を理解させる。</li> </ul>		
二 学 期 前 期	第6章 武家社会と室町文化 1. 南北朝の動乱 2. 室町幕府の政治と外交 3. 惣村の発展と応仁の乱 5. 戦国大名の領国経営 第7章 幕藩体制の展開と近世文 化の成立 1. ヨーロッパ人の来航	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>建武の新政による公武合体の政治がなぜ続かなかったのかを考え、引き続いて成立したか理解させる。</li> <li>室町幕府の特質と守護大名の動向に着目させる。</li> <li>都市や農村における庶民の台頭に注目して、庶民文化の成立の基盤になっ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建武の新政の組織と問題点に注目させ、新政が短期間になったことを理解させる。</li> <li>室町政権の守護の勢力拡大がどのような過程で進められたかに着目させる。</li> <li>惣や町衆の形成、座の働きに注</li> </ul>		

			<p>たことを理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦国大名の誕生からその領国経営のあり方にも着目させる。</li> <li>・ヨーロッパ人のもたらした新知識が戦国時代に及ぼした影響に着目させる。</li> </ul>	<p>目させ、地方産業がどのように発達したか注目させる。</p>
二 学 期 後 期	<p>2.織豊政権</p> <p>4.幕藩体制の成立</p> <p>5.鎖国</p> <p>6.近世の生活と文化</p>	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・織豊政権を通して全国統一の意味を理解させる。</li> <li>・幕藩体制下における政治機構、身分制度、鎖国政策などが当時の社会の秩序維持に果たした役割を考えさせる。</li> <li>・幕政と藩政関連にも注目させる。</li> <li>・鎖国にいたる経過を貿易、宗教、世界の動きと合わせて注目させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦国大名の統治政策と織田・豊臣氏の政策に注目させる。</li> <li>・幕藩体制の構造や政策が、社会の秩序維持に果たした役割を理解させる。</li> <li>・鎖国政策がどのような目的をもって行われたか理解させる。</li> </ul>
三 学 期	<p>第8章 幕藩体制の動揺と文化</p> <p>1.幕府政治の展開</p> <p>2.経済の発展</p> <p>4.幕府政治の動揺と幕政の改革</p> <p>5.欧米列強の接近と天保の改革</p> <p>第9章 近代への転換</p> <p>1.開国</p>	22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・武断政治から文治政治への変化を理解させる。</li> <li>・商品経済の発展と幕政及び雄藩の改革に注目させる。</li> <li>・列強国の接近と開国要望に対する幕府や各藩の動向を理解させる。</li> <li>・開国により国内の状況がどのように変化したか、それに対する幕府や雄藩の対応について理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文治政策がどのような過程を経て進められたかについて理解させる。</li> <li>・幕府の三大改革を整理しながら、幕藩体制がかかえる問題点に着目させる。</li> <li>・列強国の接近が幕府の姿勢にどのような影響をもたらしたか着目させる。</li> </ul>
<p>その他留意すべき項目（評価の観点、家庭学習など）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 評価：定期考査（90点満点）と小テスト（10点満点）で100点、その他、提出物で平常点を加味する。</li> <li>・ 確認小テスト…10点満点に換算。</li> <li>・ 課題提出…ノート点検を含む。</li> <li>・ 文化史は第2学年必修選択日本史で学習する。</li> </ul>				